

資料室便り

交通の専門図書館 交通経済研究所資料室

■新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）



『鉄道史大事典』

老川慶喜，小野田滋，柿崎一郎，
高嶋修一，鳩澤歩，渡邊恵一 編
朝倉書店発行
2024年11月／17,600円(税込)
所蔵箇所：信濃町

2025年は、1825年にストックトン・ダーリントン鉄道が開業してから200年目にあたる。本書はこれに先立って、世界の鉄道200年間の歴史を振り返る事典である。

イギリスで生まれた鉄道は、まずフランスやアメリカといった欧米諸国で広まり、その後、中南米やアフリカ、日本を含むアジア各国に拡張していった。この歴史のなかで鉄道がどのような発展を遂げ、社会や経済に影響を与えてきたか。幕末・明治から戦間期、戦後、近年の規制緩和やリニア中央新幹線に至るまで、日本の鉄道史を中心に多くのページを割きつつ、世界各国の鉄道史や鉄道技術史も独立した章を設けて学術的に詳述している。主要国以外にも北欧やエジプト、ニュージーランドなど、あまり紹介されない国を取り上げ、幅広い国々の鉄道発展の様相がわかる。

また、各項目は概ね2～3ページ程度にまとめられており、末尾には参考文献や関連資料が付されている。本書を手がかりに関連書籍にもあたることで、さらに理解を深めることもできるようになっている。（原）

■書庫のなかから（所蔵資料の紹介）

『観光の事典』

白坂蕃，稲垣勉，小沢健市，古賀学，山下晋司 編
朝倉書店発行
2019年4月
所蔵箇所：信濃町

本書は、観光に関する日本で最初の大型の事典であり、観光事象を網羅的に提示している。

観光にかかわる事項につき、①観光の基本概念、②観光の行政と施策、③観光と経済、④観光産業と施設、⑤観光計画、⑥観光と地域、⑦観光とスポーツ、⑧観光と文化、⑨さまざまな観光実践の9つの章で、各項目原則2ページで解説している。

例えば、アウトバウンド（日本人海外旅行）の項目では、歴史的経緯や日本人の精神文化の影響を踏まえた1963年までの初期の海外渡航の状況、1964年から1990年までの海外渡航の自由化以降の状況、経済的背景・長期休暇制度の変化・制度的背景の緩和など日本人海外旅行の伸長の背景、日本人海外旅行者総数、国際観光収支、および出国率について海外と比較しながら、それぞれコンパクトにまとめられている。

ほとんどの項目で、関連文献を掲載しており、より深く各項目を調べることができる。付録には、日本と海外を比較した年表が含まれている。ただし、本書はコロナ禍前に発行されており、その影響などについては掲載されていない。（古森）

資料室からのご案内

蔵書オンライン検索、新着図書・雑誌の情報、月別新着図書目録、所蔵社史・年史のリストなどは、資料室HP (<https://www.itej.or.jp/about>) をご覧ください。

担当：古森崇史，原祥太，土方規義，田邊由佳

